

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プラザクリエイト

コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大橋 正信

TEL 03-3532-8826

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,218	0.1	△325	—	△312	—	△313	—
25年3月期第2四半期	8,212	2.7	△569	—	△565	—	△612	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △296百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △611百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△82.05	—
25年3月期第2四半期	△158.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	9,757	2,599	26.6	681.83
25年3月期	10,370	2,957	28.5	765.73

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,599百万円 25年3月期 2,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	△0.7	500	67.6	500	61.3	300	67.0	78.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	4,612,086 株	25年3月期	4,612,086 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	800,167 株	25年3月期	750,122 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	3,826,411 株	25年3月期2Q	3,862,003 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、「(3)連結業績予想など将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融施策を背景として企業業績が回復基調で推移いたしました。個人消費に関しましても、景気回復への期待感から回復の兆しが見えてまいりました。

このような状況の中、当社グループは「2013チェンジ」をスローガンに掲げ、収益構造の改革と徹底した経費削減を推進し、経営の効率化に取り組んでおります。

イメージング事業においては、当社の創立25周年記念の一環として、全国で展開する「パレットプラザ」「55ステーション」の商品・サービスを拡充するクーポンブック『THE TIME SALE(ザ・タイムセール)』のサービスを開始いたしました。店舗スペースでは扱えなかったアイテムも多く搭載し、25周年の感謝を込めて、アイテム別に期間限定・特別価格のクーポンを付けました。

モバイル事業においては、新機種のスマートフォンなどを中心に販売台数が順調に推移いたしました。また、iPhone 5S及びiPhone 5Cが平成25年9月に発売開始となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、82億18百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

利益面では、継続してグループ企業内再編など店舗運営体制の効率化及び経費圧縮の効果により販売費及び一般管理費が減少し、営業損失3億25百万円(前年同期:営業損失5億69百万円)、経常損失3億12百万円(前年同期:経常損失5億65百万円)、四半期純損失3億13百万円(前年同期:四半期純損失6億12百万円)となりました。

なお、前連結会計年度までイメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップ等を展開しておりましたが、効率的な業務運営推進の観点から、第1四半期連結会計期間より複合ショップ等を分離し、通信端末を取り扱う店舗をモバイル事業に移管しております。セグメントの影響については、「第4 経理の状況 セグメント情報等」に記載しております。

以上の結果、セグメント別では、イメージング事業は、売上高39億82百万円(前年同期比29.1%減)、セグメント損益は2億94百万円の損失(前年同期:4億22百万円の損失)となりました。

モバイル事業は、売上高39億89百万円(前年同期比74.0%増)、セグメント損益は17百万円の利益(前年同期:96百万円の損失)となりました。

その他の事業は、売上高2億47百万円(前年同期比18.5%減)、セグメント損益は35百万円の損失(前年同期:46百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は97億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億13百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が2億33百万円減少、受取手形及び売掛金が1億79百万円減少及び投資その他の資産「その他」に含む投資有価証券が1億6百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は71億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億55百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億29百万円減少し、短期借入金が1億95百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は25億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億58百万円の減少となりました。主な要因は、配当金の支払額38百万円などにより利益剰余金が3億52百万円減少したことなどによるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の28.5%から26.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億32百万円減少し、17億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が1億3百万円増加し1億78百万円の支出（前年同期比140.4%増）となりました。主な要因は、たな卸資産の増減額の増加2億1百万円などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が1億42百万円増加し32百万円の支出（前年同期比1億10百万円の収入）となりました。主な要因は、定期預金の取崩額の減少1億99百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が3億96百万円減少し22百万円の支出（前年同期比94.6%減）となりました。主な要因は、短期借入金の増減額の減少3億52百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績を踏まえ、平成25年5月10日に公表しました通期連結業績予想の数値を下記のとおり修正しております。

詳細につきましては、本日別途開示しております「平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,000	310	310	200	51.79
今回修正予想 (B)	18,500	500	500	300	78.55
増減額 (B - A)	500	190	190	100	
増減率 (%)	2.8	61.3	61.3	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	18,633	298	310	179	46.53

(注) 上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,235,071	2,001,760
受取手形及び売掛金	1,192,478	1,012,864
商品及び製品	843,159	889,489
原材料及び貯蔵品	155,535	202,307
その他	757,958	662,801
貸倒引当金	△417	△357
流動資産合計	5,183,785	4,768,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,302,220	2,264,673
減価償却累計額	△1,554,642	△1,513,054
建物及び構築物（純額）	747,578	751,619
機械装置及び運搬具	4,755,910	4,626,104
減価償却累計額	△4,468,723	△4,402,777
機械装置及び運搬具（純額）	287,186	223,327
土地	1,364,215	1,364,215
その他	1,471,212	1,441,454
減価償却累計額	△1,330,968	△1,266,276
その他（純額）	140,244	175,178
有形固定資産合計	2,539,224	2,514,340
無形固定資産		
その他	413,746	404,270
無形固定資産合計	413,746	404,270
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,837,358	1,796,321
その他	404,476	277,440
貸倒引当金	△16,451	△15,115
投資その他の資産合計	2,225,383	2,058,646
固定資産合計	5,178,354	4,977,258
繰延資産		
社債発行費	8,581	11,012
繰延資産合計	8,581	11,012
資産合計	10,370,721	9,757,138

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,013,724	884,229
短期借入金	2,380,934	2,185,360
1年内償還予定の社債	100,000	160,000
未払法人税等	26,109	13,524
賞与引当金	80,708	80,696
その他	916,592	762,413
流動負債合計	4,518,068	4,086,224
固定負債		
社債	220,000	410,000
長期借入金	1,937,083	1,958,640
退職給付引当金	148,008	138,166
長期預り保証金	358,481	327,095
その他	231,839	237,925
固定負債合計	2,895,413	3,071,827
負債合計	7,413,481	7,158,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,880	100,000
資本剰余金	265,346	1,183,226
利益剰余金	2,125,655	1,773,087
自己株式	△454,291	△477,414
株主資本合計	2,954,590	2,578,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,650	20,187
その他の包括利益累計額合計	2,650	20,187
純資産合計	2,957,240	2,599,086
負債純資産合計	10,370,721	9,757,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,212,788	8,218,849
売上原価	4,724,327	4,920,296
売上総利益	3,488,461	3,298,553
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	560,693	449,918
給料手当及び賞与	657,382	686,615
賞与引当金繰入額	57,136	79,913
雑給	693,728	638,703
賃借料	607,427	595,891
貸倒引当金繰入額	1,474	—
その他	1,480,437	1,173,219
販売費及び一般管理費合計	4,058,281	3,624,262
営業損失(△)	△569,819	△325,708
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,779	3,276
協賛金収入	39,340	3,957
その他	31,052	48,455
営業外収益合計	73,172	55,688
営業外費用		
支払利息	44,725	38,457
その他	24,533	3,670
営業外費用合計	69,259	42,128
経常損失(△)	△565,906	△312,148
特別利益		
固定資産売却益	14,767	18,701
投資有価証券売却益	—	31,500
特別利益合計	14,767	50,201
特別損失		
減損損失	30,901	42,585
店舗閉鎖損失	20,946	8,061
投資有価証券評価損	—	2,168
特別損失合計	51,847	52,814
税金等調整前四半期純損失(△)	△602,986	△314,760
法人税、住民税及び事業税	15,382	13,576
法人税等調整額	△5,803	△14,389
法人税等合計	9,578	△812
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△612,565	△313,948
四半期純損失(△)	△612,565	△313,948

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△612,565	△313,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	791	17,537
その他の包括利益合計	791	17,537
四半期包括利益	△611,774	△296,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△611,774	△296,410
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△602,986	△314,760
減価償却費	356,012	238,647
減損損失	30,901	42,585
のれん償却額	1,226	549
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△216	△1,396
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,423	△9,842
受取利息及び受取配当金	△2,779	△3,276
支払利息	44,725	38,457
固定資産売却損益(△は益)	△14,767	△18,701
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	△29,331
売上債権の増減額(△は増加)	200,084	181,042
たな卸資産の増減額(△は増加)	108,882	△93,102
仕入債務の増減額(△は減少)	△112,964	△129,494
その他	△7,016	△20,488
小計	△2,322	△119,113
利息及び配当金の受取額	3,457	3,270
利息の支払額	△44,940	△37,439
法人税等の支払額	△30,269	△24,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74,075	△178,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	200,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△197,440	△190,746
有形固定資産の売却による収入	26,769	39,225
無形固定資産の取得による支出	△94,949	△78,621
投資有価証券の取得による支出	△1,954	—
投資有価証券の売却による収入	40,962	168,468
貸付金の回収による収入	101	—
敷金及び保証金の回収による収入	315,951	100,181
その他	△178,777	△71,691
投資活動によるキャッシュ・フロー	110,662	△32,183
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	154,002	△198,000
長期借入れによる収入	400,000	1,220,000
長期借入金の返済による支出	△916,810	△1,196,017
社債の発行による収入	—	296,225
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	—	△23,122
配当金の支払額	△48	△38,346
リース債務の返済による支出	△16,283	△23,753
セール・アンド・リースバックによる収入	57,219	—
その他	△46,772	△9,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△418,692	△22,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	△680	522
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△382,786	△232,310
現金及び現金同等物の期首残高	1,366,435	1,934,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	983,648	1,701,760

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において、平成25年6月27日開催の第26回定時株主総会に、資本金の額の減少について付議することを決議し、同定時株主総会にて承認可決され、平成25年7月30日付でその効力が発生しております。これにより資本金が917,880千円減少し、その他資本剰余金が同額増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	イメージ ング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,616,521	2,292,880	7,909,401	303,386	8,212,788	—	8,212,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,298	—	18,298	121	18,419	△18,419	—
計	5,634,819	2,292,880	7,927,700	303,508	8,231,208	△18,419	8,212,788
セグメント利益又は損失 (△)	△422,501	△96,019	△518,521	△46,706	△565,227	△678	△565,906

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ブライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と調整を行っております。

4. イメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップを展開しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において30,249千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	イメージ ング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,982,143	3,989,363	7,971,506	247,342	8,218,849	—	8,218,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,740	—	23,740	—	23,740	△23,740	—
計	4,005,883	3,989,363	7,995,247	247,342	8,242,590	△23,740	8,218,849
セグメント利益又は損失 (△)	△294,969	17,707	△277,262	△35,252	△312,514	366	△312,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ブライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度までイメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップ等を展開していましたが、効率的な業務運営推進の観点から、第1四半期連結会計期間より複合ショップ等を分離し、通信端末を取り扱う店舗をモバイル事業に移管しております。前第2四半期連結累計期間のイメージング事業における外部顧客への売上高に含まれる複合ショップ等の携帯端末売上は1,104,440千円であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において42,545千円であります。